



第6回 市浦村社会福祉大会

# 輪広がるあすなるのつどい

築こうみんなの力で福祉の村を

## それぞれの立場から意見発表



「みんなが幸せに暮らせる地域社会を作りましょう」と誓い合った社会福祉大会。

村民ふれあいひろば「あすなるのつどい」が、十一月二十七日午前十時から、市浦村コミュニティセンターで、村民約百二十人を集めて開きました。

あすなるのつどいは、市浦村社会福祉協議会、同老人クラブ連合会、同母子福祉会、同身体障害者福祉会が共催しており、今年で第六回目を迎えました。

つどいでは、まず、市浦村老人クラブ連合会の成田水吉会長が、開会を宣言し、主催者側を代表して青山又一村社会福祉協議会会長が「村民一人一人が手を固くにぎり合い、みんなが幸せに暮らせる地域社会をつくりましょう」と、あいさつしました。

このあと、長い間社会福祉事業に協力し、地域福祉の向上に貢献した人たちへ感謝状を贈呈、被表彰者を代表して村元富弥さんが謝辞を述べました。

来賓として出席した工藤誠一郎村助役、青山又一村議会議長らが祝辞を述べ、コミュニティ社会を形成するために、助け合う思いやりの心を大切にし、相手の気持になっ

て行動することが必要だ。みんなが幸せになることは、まず、自分が健康で長生きしなければならぬ。健康なくして福祉は望めない」と、激励しました。

続いて、老人クラブ連合会代表の葛西子ヨエさん、身体障害者代表の高橋精一さん、施設代表の長利友子さん、母子福祉会代表の小山内千津子さんらが、それぞれの立場から意見発表をしました。

当日は、婦人団体や母子会、民生児童委員らが準備した昼食をはさんで、地区婦人会、老人クラブによる芸能発表があり、和やかに楽しい一日を過ごしていました。

感謝状受賞者は次の通りです。

村元富弥、高坂善五郎（以上磯松）、浜田昭彦（十三）、吉田サタ、鳴海藤雄、三上リツ（以上相内）、脇元老人クラブ陶芸教室

社会福祉大会では、それぞれの立場の代表から意見発表が行われましたので掲載します。



小山内千津子  
（母子福祉会代表）

母子福祉会を代表して、私が日ごろ考えていることを述べてみたいと思います。

私たちは配偶者である夫を、交通、海難あるいは不慮の災害、病死等によって突然母子家庭に転落した十八歳以下の児童を持つ人々の会です。

ある人は二十歳代で三人の子供を残されて、夫に急死されたとも聞いております。

乳のお子を抱えての生活は筆舌に尽くし難く、時には女であることすら忘れて、子育てに頭没せざるを得ないことも事実であります。しかしながら、就職するとすると、祖母の健在でおられる家庭はよいとしても、その他の人々は容易に仕事に就けずにいるこ

と申すまでもありません。

母子福祉法の基本理念には、「すべての母子家庭には、児童が、そのおかれている環境にかかわらず、心身ともにすこやかに育成されるために必要な諸条件と、その母の健康で文化的な生活とが保障されるものとする。」と、ありません。

でないことは、私一人のみではないと思います。自ら進んで自立をはかり、家庭生活の安定と向上に努めてはいないもの、思うようにいかない事情にあります。先にも申し上げたとおり、職に就くといっても容易でないことはおわかりのことと思います。

そこで、村当局にお願いする訳ですが、公共施設を建設するに先立って、優先的に私たち母子会に、その権利を与えてくださるよう、お願い申し上げます。私の発表を終わります。

意見発表

生きがいを持ち 人生を楽しく

葛西 千子



(福元ささみ老人会)

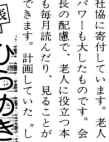
停年で職場を退職したのは五十八歳の時でした。子供たちも独立し、主人と二人暮らしの毎日でしたので、何か心の支えになることは何とない立ち、内海の療養園へボランティアに行ってみようと思いましたが、皆様ご承知の通り、重度の障害者の施設です。

(3) 広報 くらら  
夢中で仕事をし、昼食時に少し休憩し、午後四時ごろ帰宅するのですが、いつもあれもやっていたら、これも少し残したと思つて帰ります。園の子供たちは、病気のため言葉は正確に言えません

持ち弁当で通い五年が過ぎようとしています。今では若いお母さんたちが二人加わり三人で遊んでいます。ボランティアは暇をみて、というのではなく、暇を作り出して行うものと確信しております。

が、健康体の人以上に感受性のすといがいます。ある冬の寒い日、指導員がどうしても別の用事のために、かぜ気味の男子の食事の依頼されました。部屋に行ってみると十五、六歳の男子がみと十五、五分粥を茶わん半分位食べさせ、お薬を飲ませ下の仕事をしたら二時間近くもかかりました。そして春がすぎ、夏のある日、ミシンかけをしている私のそばへ、車椅子で目についている子供がいて、誰か指図員に聞かせてみてと、冬にあつたに食事させてもらつた後で「君よ」と、教えてくれました。私はびっくりして「おれ、すっかり忘れてしまつているのに、除君は覚えていてくれたのです。病気のため、自分の意思を人に伝える事は出来ないけれど、普通の人も何にも変わることがありません。あの明るい子供たちの笑顔がどんなにか私の支えになっていくか知れません。

敬老の日は、村内のお年寄り四百余名の方に湯のみ茶をおんをプレゼントすることができました。毎年、商工会やふるさとまつり、NHKやふ出品し、販売した利益を村の杜協に寄付しています。老人クラブへ入会したのも五年位前です。「老人クラブへ入ったって、空き拾いといとり残されないうちに、一人一人が自覚し、たす目に向けて行くことが必要です。また、それをしてくれるのが老人クラブの使命だと思います。行政側、特に杜協は、老人たちはどうしたら健康で長生きするかを考えています。増え続ける老人人口、それに伴う一人暮らしや遅い老人、痴呆症に悩む家族、老人問題は数限りなくあります。これらを克服してゆくのも私たちに与えられた課題ではないでしょうか。



意見発表

長利友子

(福元保育所々長心得)

舞い散る落葉のリズムに季節の彼方が、白い雪景色の連日であうと思われ今のこのころ、月見草の里市浦村では治道運の遅咲きのハマナスの紅色が、かすかなをこみみ与えております。

今日、大勢の皆様の前で、しかも人生経験があまりありませんが、保育所体験を述べさせていただきます。この大賞候補に存じます。さて、昨年、日本中科学博覧会にきわい、ごご科

めなわ。づりに、いま取り組んでいます。一度の経験もない私も毎日左なわに挑戦し、汗だくです。一つでも出来れば何とも言えないくらい喜びです。この喜びが健康に役立っているのではないかと、思っています。

これからは、老人大学も開校されます。一人でも多く受講し、一緒に学習しようと思っています。

ありませんか。このたびの国会で、老人健康保険法が二歩も、三歩も後退しました。それに対して私たちは、自分の体によく注意がける位がせいぜいです。粗大ゴミなどご指導されぬように、自分を新たにしようから、人生を楽しもうと生きていこうと決まっています。

あるところは、そうならないただけど、その夢がかなえられること、それが科学です。かみくだいて言う顔を見て子供たちは「ふん」と半分分ったような、分らないような顔をします。そして、「せば、せんせい」科学って何でもかなえられるんだけ、言葉にできること、純粋人間の言葉と言葉が、私心をとらえます。何てのびのびした発想なのでしょう。何て創造的な発想なのでしょう。

私は時々、子供たちの午睡の時間に、自分만의物事を一つに聞かすが、それは多分に平凡さと常識と逸脱しきれない、めりはりの少ないものだと、この時思おざるを得なく、この「ちろちろん大、編だつて二巻まで立つて

ありませんか。このたびの国会で、老人健康保険法が二歩も、三歩も後退しました。それに対して私たちは、自分の体によく注意がける位がせいぜいです。粗大ゴミなどご指導されぬように、自分を新たにしようから、人生を楽しもうと生きていこうと決まっています。

「パーマもかければ、おかしうもするし、すてきなドレスも着れば、タバコだって、酒だって飲むし、きつと自動車も運転できるよになるわよ」私の思考力をふりしぼった答えがこれでした。実際、そんな時代の到来は、おとさ話の中のことですが、私はあえて子供の発想、夢を広げたいと思います。そう言いました。「ふーん、いつのこと、それ？」すかさず子供たちがたずねます。「たぶん、みんながおじいちゃん、おばあちゃんになったころかな？」子供たちのキラリとした黒い瞳が広がります。半ば私の話を信じている様です。」三つ子の魂百まで」と言いますが、まさにその場面で、一語一句が子供の脳裏に広がる大切さを肝に銘じなければいけません。科学の時代は文明の時代、文明はお金しいとも言われ、スイッチ一つで用事が済む昨今だからこそ、子供の内心から生じる一瞬のひらめきの言葉、毎日の保育の中で育んでゆかなければなりません。それは、テレビで得る間接体験でなしに、身近なことへの体験の積み重ねから思われます。科学の時代は、子供の一瞬のひらめきから出発するものだと思えます。



意見発表が行われた「あすなるのつどい」には村民約120人が出席しました。

「あすなるのつどい」には村民約120人が出席しました。

## 民生(児童)委員決まる

総務に越野さん  
副総務には葛西さんを選任



今後の活動について話し合った懇談会

委員の辞令交付式が、十二月一日青森市の厚生年金会館で行われ、本村の新しい民生(児童)委員



越野清志さん 成田ユリさん 三和ヨシミさん



村上ヨシエさん 葛西美代さん 青山ミエさん



工藤嘉四蔵さん 和嶋貞一さん 石岡ツルエさん



梶浦ミナさん 湯浅うめさん 有馬正年さん

民生(児童)委員が決まりました。厚生大臣ならびに県知事からの辞令伝達式は、十二月二日午後一時三十分から、市浦村役場会議室で行われ、定数十三人中、十人が出席し、三重寅村長から一人一人に辞令が伝達されました。

辞令伝達にあつては、村長は「本村も高齢化社会を迎えているが、健康で長生きすることは大変結構なことだ。村ではいま、高齢化社会に対応できるような対策を進め、お年寄りや若い人たちのバランスのとれた村づくりをめざしており、民生委員のみならずにも大きな期待を寄せている。苦勞の多い仕事ですが、社会福祉向上のため、がんばっていただきたい」と、あいさつをしました。

このあいさつに呼ばれた組織では、総務に越野清志さん、副総務には葛西美代さんが選ばれました。

新しい民生(児童)委員と担当地区は次のとおりです。

- ◆相内地区：三和ヨシミ、成田ユリ、工藤ツツエ
- ◆桂川地区：越野清志
- ◆太田地区：青山ミエ
- ◆臨元地区：葛西美代、村上ヨシエ、石岡ツルエ
- ◆磯松地区：和嶋貞一
- ◆十三地区：工藤嘉四蔵、有馬正年、湯浅うめ、梶浦ミナ



下平尾 勲氏

(福岡大学教授)

大阪市立大学大学院卒。佐賀大学助教授を経て現職。専攻は「金融地場産業論」「貨幣と信用」ほか。東北地方の「むらづくり」で指導的役割を果たしている。市浦村長期総合計画策定専門委員長。

# 大きな夢と ビジョンが大切

村づくり基調講演

これからのまなびの課題

## 地域資源の活用

昭和四十年不況の影響を受けて、非常に深刻で産地がほとんどつぶれていった時代、私は佐賀大学に赴任中でしたが、有田焼の調査に係わりました。その時の我々の基本的な考え方としては、まず、地元にある資源をどう使うか、ということが第一にありました。伝統、歴史、あるいは様々な人たちの力の出せる雰囲気、あるいは教育制度をどう作っていくか、といったこと

第二には、市場が変わっていくと、消費者の好みや価値

感が変わっていく訳ですから市場の方から産地をどう作るか、ということを見ないとだめで、地域の中からだけ見ただけでは時代遅れになってしまっただけです。

それから第三に、他の業種他産地等を調べて、よすが何をやっているかを研究しようというところで、京都の焼物産地、あるいは瀬戸、美濃、輪島の漆器をすいぶん勉強いたしました。輪島の産地、山中の産地の在り方、豊岡のカバン、それから日本の優れた企業体として、松下やソニーを産地の人たちが我々と一緒にやって勉強に行ったのです。優れた業種、優れた産地から勉強して、情報や知識を入れてよすがとした訳です。さらに町の中には、若い人たちを残すために、働く場所と文化を作ろうと、もう考えた訳です。そして総工費四十億円程かけて、九州とか山口県をも含む文化館を作った訳です。設計は地元出身の人をフル

に活用し、大工は京都の宮大工に来ていただき、素晴らしいものが出来上がりました。そうすると、地元の高等学校の卒業生がものすごく残るようになりまして、しかも、役場では町史の民俗資料館を作ったり、また、別に先祖様に申し訳ないというの。先人陶芸の碑、というもので作った訳です。

## 教育制度の確立

言葉は悪いかもしれませんが、人材をよまから「かっぱら」ってくる、といった基礎的な方向づけをしたのが昭和四十五年であります。つまり、昭和四十五年のその構想がやっとなんか実現されてきています。それから、地元の産業の活性化を起させるためには、産地区々々の体制を作らなければなりません。そのためには、商人の意識を近代化させることが大切です。彼らに借金させて新しい所に移させる、というの。山をはいでたのであります。住りましたので、猛烈な地権者住民からの反対があったが結局、それが商業活動が

それから、人づくりのためには、きちんとした教育制度を作らなければだめだ、十年後の地域を作るためにも、いま、人を残し、外部から人を集めてくるものを作ろうということで、県立商業学校を作った訳です。そうしますと地元の工業高等学校の卒業生が古い産業、そこで、教えては消えるというものを、教えて、高等学校ではニューセラミックスを主要な科目にして授業体系を作り、それに詳しい先生に来てもらって、そして三年の間には、日本の東芝や日立がお願いに来るだけでなく、アメリカからも人が集まるようになったのです。そう

ら地元の工業高等学校に進学できない、どうしてないからと、英語力が足りなからいす。そこで町の役場が三百万円を出して、オックスフォード大学を卒業した二十二歳の女性を十一月間雇ったところ、若い先生方が大変ハッスルして、学校中英語の雰囲気になり、学校の学力がぐんと上がった訳です。そういうふうにして、中学、高校、大学という制度の中で、それを卒業した人たちが地元に残すようにする。



61年8月26日、村づくり審議会がスタート。



相内小学校では北都相操大会が開かれた。



交通安全は県民の願いです。

### 過疎とは何ぞや

活性化するきっかけになった。このように商人とメーカーと関連の部門を、一カ所に集めるために、有田焼会館として産業会館を十数年かかって作った訳です。

ませんで、精神的な過疎の方に移っているところに過疎があります。経済的に貧乏になっ

昭和五十二年に福島県三島町という所で、東北六県の過疎問題の大きな研究会がございました。その時、非常に驚く話を聞きました。昭和四十八年、四十九年では一本一千万円した会津桐が、二百五十万円でも買いかない。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

た、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけにならず、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心を向けざるを得なくなりました。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

た、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけにならず、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心を向けざるを得なくなりました。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

た、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけにならず、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心を向けざるを得なくなりました。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

た、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけにならず、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心を向けざるを得なくなりました。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

た、ついこの間まで百万円だった桐が、今十五万円位だといふんです。地域の特産物の価格が四分の一に暴落していることに何ら手を打たれていないんです。そういうことがきつかけにならず、会津桐の調査をやってみました。そういうことから私は、過疎地域の諸々の問題に関心を向けざるを得なくなりました。

その理由は、農業の一年間の生活および生産の循環の体系が失われてしまったことが原因です。冬場の仕事が工業製品にとられてしまっ

### 人の声のするまわりの

私も福島県の長期総合計画

の委員になった訳ですが、その長期計画の基本的理念は何かという点、地域格差、所得格差の是正を基本的課題としている訳です。そのための基本的な手段は何かという点、交通体系の整備だけになってくるのです。もう一つは、企業誘致政策を進めることだ

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

ていかなければならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持っていかねばならぬわけであり、まず外に出るというふうにして、余剰労働力を他に持って

この人の声のするためには、明るいイメージ、ビジョンというものがなければならぬ、そして若い人が地元に残るような施策にもっと力を入れるべきだといふ。そのためには、ただ働く場所というものを、地元資源というものを使っ

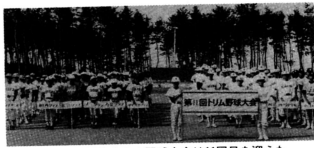


61年7月19日、十三湖中の島公園がオープンし、鼓笛隊も参加しました。





交通事故防止を呼びかけた駅伝大会。



市浦の甲子園。トリム野球大会は11回目を迎えた。

# 都市との連携

昭和五十五年と五十六年は都市と山村の交流というものが二年がかりでやりました。初めはこちらからみた都市との交流の条件というものを調べあげました。もう一つは都市側からみた農山村との交流事業についての詰めをやり

これも報告書を二冊つくりました。これは今度国土庁がびつくりした訳です。これには地域経済の考え方として、再生産の理論、つまり地域内循環の考え方ではなくて、例えば農山村が栄えて都市が栄える。都市が栄えると、その利益を農山村に返していきましようという、そういう考え方を。つまり自然から恩恵を受けたければ、その恩恵を受けた一部を自然の中に返してあげば自然破壊にならない。農山村から優秀なる労働力、あるいは空気が、水というものを都会が欲しいなら、都会の方が農山村の方にそれ相応のものを還元して、こうというシステムをつくらない。農山村が崩壊してしまえば都市というものは非常に弱なものになってしまう。東北地域は多

くの労働力を出してきたので、日露戦争、日清戦争、第二次世界大戦の時も優秀なる軍人を出しました。ご存知のように、経済成長の時は、我が国の優秀なる労働力を出していた訳です。そして農山村が冷えてしまいますと、日本全体の活気というものがなくなってくる。その分をどうするかという、国のレベルで過疎対策を本格的にやるべきた、農業も水と空気の浄化とか、地域文化も含めて農業の在り方を見ないと、アメリカとの競争において、やはり勝てない訳ですね。そういう意味で、農山村というものを複合的にとらえていこうという事です。そして、その資金は、福島、郡山市から回すべきである。という考え方に立っている訳です。そうしますと、福島県のネットワークに立っているところがわかります。これはおそらく青森県も同じだと思います。

## 開拓精神のイタリ

ところで、産おこしには開拓精神がなくなってくる。間違いない。それから地域おこし、村お

こしに大切な点は、イメージづくりでありませぬ。地域イメージは残しません。それは積極性、想像性、あるいは明るいイメージ、将来良くないイメージ、どうだろうというイメージ、そのイメージにまつわりついて若し人が仕事を出来るようになって良くなっていくんで

二は十三期があり、安東文化があり、伝統、歴史があります。地域の人は認めていないけれど、むしろ外部の人たちは立派だと思っているんです。大切なことは地域の人たちが、これは立派だと思っ

## 生産・管理・販売のシステム化

それから地域の中に私は、五徳の蓄積というものを主張

しておりますが、信用の蓄積、人の蓄積、奉仕の蓄積、取り引き先の蓄積、資本の蓄積の五つです。そういう信用というものを地域、あるいは企業が蓄積していけば必ず伸びていきます。つまり基本戦略、管理システム、地域の精神の三つの原因があって、一つの素晴らしいわけです。

地域産業をやっていることも同じです。産産であれば、生産と管理と販売の統一をやらなくとダメなんです。そういうことをやっていると、地域に大きな夢とビジョンをつくることです。地域の人全体が盛り上っていき、雰囲気を作ることなんです。そのためには、地域住民の教育をしていくことが必要です。外部から情報をど

うことがあります。そうすると、地域内の雰囲気が変わってきます。過疎地域なんてはついておいて良くなるはずがないんです。普通に努力してもダメなんです。相当努力しなければダメです。しかも、その努力の仕方としては農林業だけ見ていたらダメです。やはり、もう少し新しいものを導入しながら、活性化していくことが必要です。

こういう意味で、この市浦村という地域は資源は充分にあります。しかし、それをどう生かしていくかというウハウ(How)がないこと、組織がないということ、それから全体を動かしていくような、住民的な活動が比較的少なかったことに問題があるのではないかと思います。地域づくり、村づくりに当たって、地域住民の英知の結果を切望いたします。(61・8・26村づくり基調講演)



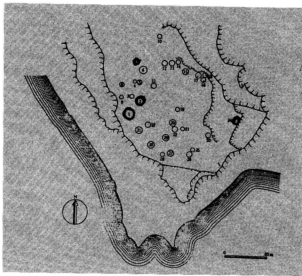
# 福崎城址

(5)

奥の島線



▶ 76 ◀



福島城址 鱈崎堅穴分布図

鱈場の大ききわい  
しばらく福島城址の城外  
と思われる鱈崎を散策して  
みることにしよう。  
このあたりの湖面は、明

治の初年ごろまで鱈の溜り  
場であった所として漁師仲  
間はタジ引きで一番組、二  
番組の順番を決めたという  
鱈の大漁場として知られて  
いたものだろうです。そん  
なところから鱈崎という名  
称がつけられたものだと故  
豊島金之丞翁の直話です。  
この高時の水戸口は、い  
わゆる古水戸とか本田水戸  
(十三町奉行本田重藤間整  
の功を讃えるためにつけら  
れた名)とかいわれている  
ところです。江戸時代の末  
期だと思いますが、十数正  
のイルカが十三湖面にはい  
つてきて、ネジリ鉢巻にフ  
ラジシ一本の裸体の若者が  
ちが大騒ぎで追いかけた話  
も残っています。  
だからそれ以前の室町時  
代の古文獻「十三往来」に  
は「南は湖水漁々として、

月は水底の暗きを照し、青  
波静かにして魚捕の便あり  
と謳われているのです。鱈  
の大漁場であったとしても  
何んの不思議もありません  
し、それで鱈崎という名が  
生まれたという話もあなが  
ち作り話ではないようです。  
鱈崎に三十二個の堅穴

ここは福島城が十三湖に  
突出した南端標高約一八二  
メートルの台地尖部で原野  
となつていますが、私たち  
素人目でも十数個(相内  
史談会探訪)の堅穴群を数  
えることができましたし、  
昭和三十年の専門家(早大  
教授桜井清彦氏)は三十  
二個の堅穴を確認していま  
す。直径四一〇メートル  
のエゾといわれた人々の住  
んでいたところです。四つ  
の堅穴を発掘した結果大径  
のものは住居址、小径のも  
のものは井戸址であつたとい  
うことです。  
住居址は四辺形で、東北  
西は土壁で囲まれ南に口を  
開けています。出土したも  
のはおもに黄褐色、赤褐色  
をした口タコを使用した作

つた土師という土器片で、  
中世時代のエゾといわれた  
人々が用いた器物といつて  
よいと思います。

## エゾと雑居

そうしますと、福島城に  
居住していた安藤氏(安倍  
・安東)と堅穴群に住居し  
ていたエゾとは雑居してい  
たのではないかと思われ  
るのです。雑居とまではい  
かなくとも何んらかの關係  
のもとに住んでいたとしか考  
えられません。

「十三往来」にも「西は  
漁海漫々として、夷船京船  
群集し、鱈先を並べ、軸を  
調ひ、漆は市を成す」と記  
されています。北方の産物  
を積んで入港した夷船もた  
くさんあつたわけですので、  
交易のために蝦夷地の人々  
も、あるいは根室州方面の  
人々も十三湊に来ていたの  
かも知れません。鱈崎は安  
東船の船着場であつたと、おそ  
らく鱈崎の堅穴群のエゾは  
安藤氏に配属し、荷役の役  
割を果たしていたものでは  
ないでしょうか。

## 津軽のことわざ

ふの部

福ふの神かみササ尻し 幸運の神に背  
を向けているようだという意  
フタふ撞つみ 損したという意  
花札ゲームの一種「カオ」で  
無得点を「フタ」という。  
二ふつ三つはは覺あり盛さり、五  
つ六つはは憎にくまれ盛さり、十五ご六ろく  
は嫁よめ入り盛さり、女おんなの十五ご六ろく  
歳は結婚適期であるという  
こと、早婚のことわざ。  
不調法も調法のうち、不調  
法したからと言つてそんなに  
かしこまる必要ないという意  
降ふらず照あらずの油風 暑す  
ぎす寒すぎす、海もおだやか  
な日和のこと。  
古くていいのは南瓜かぼちゃと医者  
サマ、古いものにはいもいもは  
またたという意。医者は経験  
が物言ものごとうし、南瓜は半奇はんきるほ  
どうまじくする。  
古物ふるものは新品に  
くらべて半分の値打ねうちぢいかな  
いという意。  
踏ふんたうり蹴くつたり さしざ  
んな目にたうりこと。  
豚ぶたの水登みづのぼりり 不可能なと  
たうりこと。



情報をお寄せください

# おしらせ

役場の電話は62-2111



## 入学生を募集

県立弘前高等学校通信制では、昭和62年度の入学生を募集しています。

自宅と日曜スクーリング(昼間)で学習しながらレポートを作成し、規定の単位を修得しますと高等学校卒業の資格が得られます。

職業や年齢に関係なく学べますので、いろいろの立場の人達があり、勉学に、スポーツに一生懸命です。また、希望する科目だけを学ぶこともできます。

入学願書、入学案内は120円切手を同封し、下記へ請求してください。返信用封筒は不要です。

出願期限は、**3月4日～4月8日**です。

なお、就学前の子供さんのための託児室も設けております。その他、学習の仕方など詳しい事を知りたい方は下記へご連絡ください。

☎036 弘前市新寺町一番地  
青森県立弘前高等学校 通信制  
☎(0172) 32-9424

## 20歳になったら 国民年金に加入

成人になられる皆さんに心からお祝い申し上げます。

20歳から国民年金に加入することも、大人の仲間入りのあかしであり、義務と権利です。

現在、県内では20万人が国民年金から受給しており、昨年度の支給額は6百25億円に達しています。国民年金は、老後における生活

の支えとなるほか、万一の事故や病気で障害者になったときや、一家の働き手が亡くなったときにも基礎年金が受けられる公的制度です。

20歳からのスタートに出遅れますと大変です。国民年金の手続きがまだの人は、至急役場で加入の手続きをしましょう。

## ■ 国税日より ■

### ◎サラリーマンの確定申告

○確定申告をしなければならない場合

- ①給与の年収が1,500万円を超える場合
- ②給与以外の所得が20万円を超える場合
- ③給与を2ヵ所以上からもらっている場合

○確定申告をすると所得税が還付される場合

- ①マイホームをローンなどで取得した場合
- ②多額の医療費を支払った場合
- ③災害や盗難にあった場合
- ④年の途中で退職し、再就職していない場合

詳しくは、最寄りの税務相談室又は税務署にお尋ねください。

## 雇用保険の不正受給 を村からなくしよう

(雇用保険不正受給防止月間)  
(1月31日まで)

雇用保険の失業給付は、労働者が不幸にして失業し、積極的に求

松橋照彦さん(内)  
長女 梓ちゃん(三歳)  
父母の仕事の関係で、十三保育所に入っているの、友だちがいっぱいいて楽しいよ。



すこやか日記

職活動をしたにもかかわらず、再就職ができなかった場合の必要な給付として、失業中の労働者の生活の安定と再就職の促進を目的に給付されるものです。

また、失業給付の財源は現に働いて保険料を納めている労働者や事業主、それに国民の貴重な税金で賄われているのです。

この意味で、不正受給は社会の善意を踏みにじる許されない行為であり、1日も早く根絶されなければなりません。

雇用保険制度は、なくてはならない正しい申告による受給と、1日も早く再就職できるよう、本制度の健全な運営にご理解とご協力をお願いします。「正しい受給で確かな就職」五所川原職業安定所

## 警察からのお知らせ!

「1月10日は110番の日」

あなたの非常ベル110番  
事件/事故/.....110番  
110番は正しく落ちていてください。



一狂気のテロ・ゲリラー

## 極左暴力集団の 壊滅にご協力を!

もしかしたらあなたのそばに.....?

中央での取締りが厳しくなればなるほど、彼らは地方にきます。\*凶器。と\*狂気。から平和な生活を守るため、みんなが極左暴力集団に関心をもち、壊滅させましょう。

やる気十分な若者に期待  
先日高校へ行った娘が帰ってきた。久しぶりの山や海、自然があつてナンビリ暮るのいい所だけど、ポンピとしたこれといったものが無く、何となく暗い感じがするし、働く所もない、ここにいたってどうやって食べていくの。卒直な意見にやがては遠くへ離れるだろう娘にふと淋しさを感じた。村づくり計画委員の一人として切実な思いを胸にしていた矢先、先般のふるさと祭りでの一場面、安東物語を演じた若者達の活躍ぶりには目を見張るものがあり大拍手を贈った者の一人です。裏方、演出総勢一八名のメンバーとか、これこそ21世紀を担う若者ここにあり、彼等こそ本気でやる気を感じて受給したのが見え出せるでしょう。及ばずながら力になりたいと思ふ。



竹谷ヨシエ (陽元、44歳)



▶ 19 ◀

### 飲酒、ほどほどに

危険な一気飲み

県済産保健婦 野宮 富子

大変危険です。酔いの自覚前  
に短い時間でアルコールの血  
中濃度が上昇するからです。  
アルコールは脳を麻痺させる  
ので麻痺が深くなると、麻酔  
薬と同じで昏睡して呼吸停止  
することもあります。  
〔日本酒よりも、ビールやウ  
イスキーの方が酔いしれない  
と言われていますが、種類に  
は関係ありません。飲んだア  
ルコールの量によります。日  
本酒一合、ビール一本、ウイ

完全禁酒を二日間は続けまし  
よう。  
四日酔いへの対応  
水分、甘味、重曹、塩分をと  
って、運動や入浴等をとり入  
れ、尿や汗として早くに発散  
させることが好ましいようで  
す。



今日は、「百薬の長」とも。  
気遣い水」ともいわれている  
お酒についてちよっと何か  
と飲む機会が多い時期です。  
健康なおつきあいしてはし  
いものです。  
〔最近若い人に流行している  
。一気飲み。について

## 若者登場



有馬 敦

(十三・21歳)

### より住みよい 村づくりを目指そう

村では、新しい村づくり計  
画を進めるため、去る八月二  
十六日、村づくり百人委員会  
を組織しました。役員にも  
計画策定企画部会を組織して  
その準備を進めています。ま  
だ具体的な活動はありますが、  
私もそのメンバーの一人  
として、これからの村づくり  
に携わることになりました。  
若い人たちが定住できる村に  
したいと思っています。  
このことは、単に役場職員  
だけでできるものではなく、  
村民一人一人の英知と協力し  
合う心が大切であります。

特に、いま村に残っている  
若い人たちが、その気になっ  
て、計画に参画できるよくな  
ることを、その人々もたも  
また積極的に参加する気構え  
を持たなければならぬと思  
います。  
それだけが、その立場立場  
で問題意識を持ち、どうすれ  
ば、より住みよい村づくりが  
できるかを、真剣に話しあひ、  
来たるべく21世紀へむけての  
足がかりを見つけ出すことが  
必要であると思っています。

### 一人には赤ちゃん

山田敏昭さん(協元)

2男 裕志ちゃん(8ヵ月)

いま、ボクきげんわりの!  
だって、あそぼうとおもって  
いたおとうさんいなんだも  
の!



- 木津谷 将人(相内) 清藏  
村元 満美(磯松) 尚悦  
高村 和佳奈(相内) 定男  
古川 修平(太田) 秀明
- 北澤 幸三(車力)  
工 藤 幸子(相内)  
工 藤 幸次(太田)  
有 藤 しのぶ(東京)  
近 藤 昌浩(十三)  
太 田 文子(鯉ヶ沢)



ご結婚

### 戸籍の窓



お誕生

- 石 岡 克雄(協元)  
岡 村 留利子(七戸)  
上 野 聡(青森)  
福 井 富士子(十三)  
米 谷 正三(相内)  
伊 藤 勝津子(木造)  
豊 島 勝年(十三)  
山 田 美由紀(十三)  
濱 田 正義(十三)  
鹿 山 房江(栃木)
- おこやみ
- 福 島 キヨ(十三) 78歳

### 編集後記

一九六六年の歳すまらぬ数日  
十三湖中の島公園の仮一泊、  
太田小学校の建設、木材工業セ  
ンター、農水産加工センターなど、  
ハードな事業が続きました。新し  
い年は、これらを生かしたソフト  
面での活性化をはかりたいも  
です。広報しほりもがんばり  
ます。どうぞ、よいお年を。  
(島野)